



# 實性

令和三年 第四号 秋彼岸発行

## 秋のお彼岸 ——ご案内

お彼岸とは「修業の完成」という意味です。

仏教では、私達が生きている迷いの世界であるこの世を「此岸」  
(川のこちら側)と呼び、岸の向こう側を「彼岸」<sup>しがん</sup>と呼んでいます。

すなわち、迷いや苦悩に満ちたこの世界「此岸」から、苦  
惱や迷いの無い悟りの世界に渡ることをいいます。この為に、  
自分自身をよく整え、精進努力する期間が「お彼岸」です。

秋分の日の、日中を真ん中にして、前後三日間の計七日間  
のことをいいます。お彼岸は、日本独自の純然たる仏教行事  
です。太陽が真東から昇り真西に沈む「中道」を表し、西方  
極楽浄土のありかを示しています。

極楽浄土という、仏様の悟りの世界におられる今は亡きご  
先祖様の徳を偲んで、お墓参りをします。今、自分が生かさ  
れている喜びに感謝し、仏様の教えに親しみたいものです。

### 彼岸会法要

お中日

おちゅうにち



■九月二十三日(祝・木) 午前十一時より

- お彼岸入り 九月 二十日 (月)
- お彼岸中日 九月 二十三日 (木)
- お彼岸明け 九月二十四日 (金)

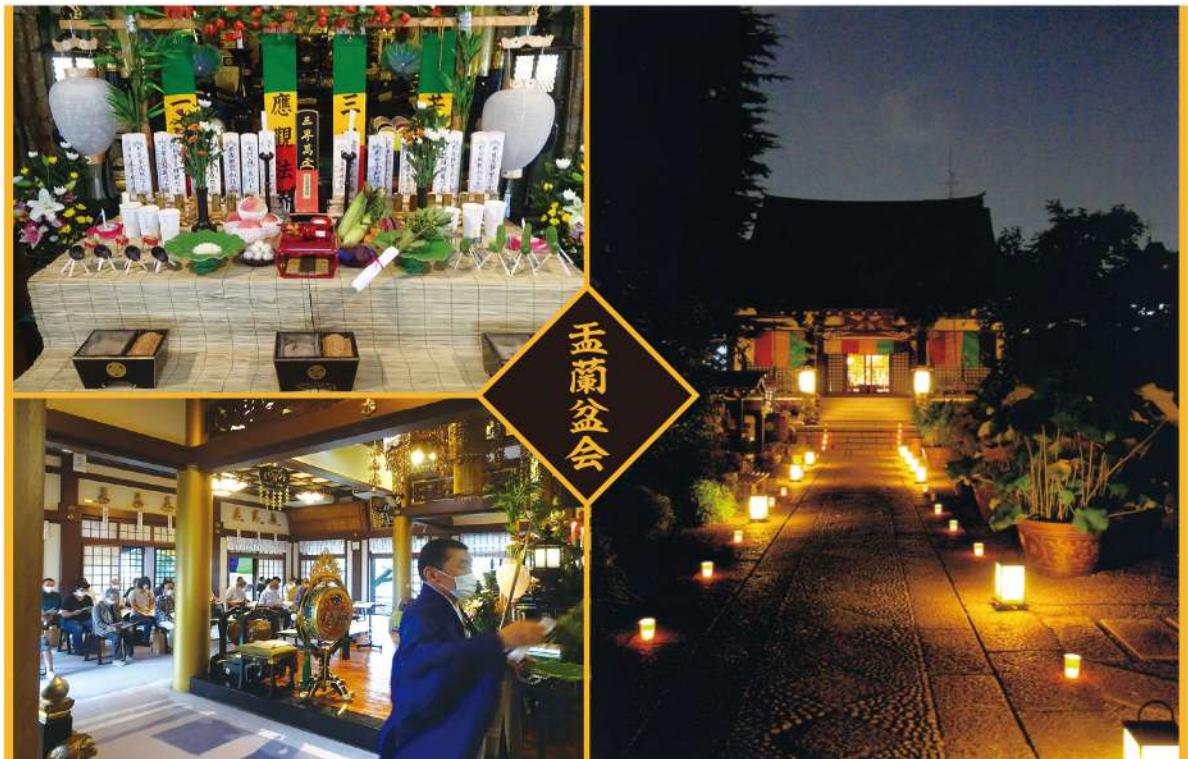
※お彼岸のお塔婆はお早めにお申し込みください。

※新型コロナウイルス感染感染状況により変更となりますこと  
ご了承ください。

## 盂蘭盆会ご報告

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、当山の行事「修正会」「春彼岸会」「施餓鬼会」「花まつり」「七夕・蓮見の会」「実性寺寄席」「盂蘭盆会」「秋彼岸会」「暁月会」等例年通り厳修することが困難となつております。

これらの行事は、本来、住職とお檀家様、職方、茶道部の方々等、仏様とのご縁のもと、親しく身近にと催されるべきところですが、三密を避けるため、変則な形になつております。何かとご不便ご迷惑をおかけ致しておりますが、ご理解賜りますようお願い申し上げます。



盂蘭盆会



實性寺の  
**彼岸花**  
ひがんばな

お彼岸の頃、開花するので彼岸花と呼ばれています。またマンジュシャゲ（曼珠沙華）とも呼ばれ梵語「赤い花・天上の花」の意味で、おめでたい兆しとされています。

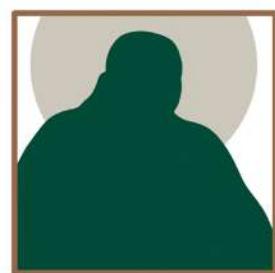
淨土宗の宗祖・法然上人は、一一七五年（承安五年）に淨土宗を開かれました。二〇二四年（令和六年）に、淨土宗は開宗八五〇年を迎えます。

法然上人は、「南無阿弥陀仏」とお念佛を称えることにより、すべての人が平等に阿弥陀さまに救われていく道を説かれました。

淨土宗を開かれた理念について、法然上人は次ぎのように仰っています。「私が淨土宗を立て意趣（いしゆ）を考え）は、凡夫（ぼんぶ）（仏教の道理を理解していない者）が阿弥陀仏の報土（ほうど）（西片極樂淨土）に往生できることを示すためである。」

欲求が満たされることも「幸せ」の一面ですが、欲求が満たされることはだが「幸せ」では有りません。「仏法僧の三宝」の明るく、正しく、なかよく生きる生活の中に、「幸せ」の本質があると考えます。

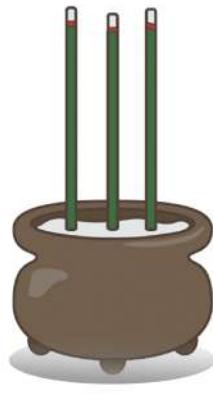
「お念佛からはじまる幸せ」とは、お念佛を称えることにより、自分自身が生かされていることに気づかされる。そして、お念佛を称えることが阿弥陀さまに見守られ、救われていく安心につながり、お念佛の信仰を深めていくことです。



法然上人  
**淨土宗**  
開宗850年  
お念佛からはじまる幸せ  
令和6年

淨土宗開宗八百五十年

## お線香



お線香は香りのごちそうです。心を清め、身体を清め、物を清め、真心をお供えすることにあります。仏様のみ教える香り、静けさの香りでもあり、また、仏様の食べ物ともいわれています。この香りは、香木ですが、長く香るようになると、お線香が作られました。お線香を供えるには、なるべく香りの良い物を差し上げてください。一本でもあるいは半分でも十分です。

ご持参のお線香を「自身で火を付けるのは、大変危険です。また、汚れの原因ともなります。**玄関でお付け致しますので、どうぞお申し付けください。**もちろん無料ですので、ご遠慮は無用です。

お寺は、お線香を売る商売ではございませんので、壇信徒各位の便宜上お寺に用意してあるものです。

## 卒塔婆とは

普通に「お塔婆」と呼ばれていますが、正式にはインドの言葉で「ストゥーパ」という言葉が中国で「卒塔婆（そとうば）」と漢字に置き換えたものです。

この「ストゥーパ」は、元々お釈迦様の遺骨、すなわち舍利（しゃりーりー）のことをいいます。埋葬した上に「しるし」として立てられたものが「仏舎利塔」です。「仏舎利塔」が「五重塔」になり、五重石塔になり、「木柱の塔（角塔婆）」になりそして板の塔婆になりました。板の塔婆の上部に五つの切り込みがありますが、五大、すなわち、地・水・火・風・空という万物を表しています。

塔婆を建立することは、物質的に最大の供養とされ、また、亡き人へのお手紙ともいわれています。この物質的最大のまごころの供養をもつて差し上げたいものです。





實性寺ホームページ

# 境内の花



## 駐車場

当寺には山門右横の五～六台の駐車場しかございません。

ご法事・お寺の行事（修正会・彼岸会・お施餓鬼・お盆等）には、とても不十分です。今までには、お檀家様の駐車場をその都度お借りしておりましたが、空きが無くなり、ご用意することができません。

大変ご迷惑をお掛け致しますが、お寺の周りの、コインパークィングをご利用頂くしかありません。その点は何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

★ご法要等のお塔婆を建立される方は、遅くとも十日前迄にお申し込みください。お電話よりファックスの方が正確ですのでご利用ください。

ファックス番号 03(3883)3227

振替口座 00190-6-258873

※振込用紙をご入用の方はお申し出ください。

〒121-0061 東京都足立区花畠三一十七一十八  
電話 03(3883)8866

淨土宗 實性寺

<http://www.jisyoji.com>

十一月～一月まで

- 開門 午前七時
- 閉門 午後四時

冬時間にともない開門・閉門時間を変更させていただきます。

ご理解・ご協力の程よろしくお願い致します。

